所属選手の未来予想図から
ドラフト方針を考えよう

横浜DeNA ベイスターズ 5年後の予想布陣

牧&東の去就で変わる5年後

今オフにも、牧秀悟、東克樹が海外挑戦をする可能性が出てきた。投打の軸である2人の去就が5年後にも大きく影響するのは間違いない。

捕手は、山本祐大の放出で松尾汐恩中心が既定路線。一塁は、実績のある佐野恵太かソフトバンクから移籍してきた井上朋也かは来季以降の活躍次第だろう。移籍の有無に関わらず、二塁手は牧以外が担う可能性が高い。牧が残留した場合でも、年齢的に一塁か三塁へのコンバートも選択肢になりそうだ。

二塁や三塁の有力候補は、ドラフト1位の小田康一郎に期待したい。長年固定できなかった遊撃には、守備の安定感と長打力のある打撃でルーキーながら活躍している宮下朝陽の定着に期待。度会隆輝以外の外野手は流動的だが、中堅守備が光る森敬斗や今年急成長した勝又温史がポジション争いにどう絡むか。

投手も不動のエース・東が移籍するかで大きく変わってきそうだ。今年頭角を現してきた篠木健太郎、深沢鳳介に、経験、実績のある石田裕太郎らがエースといえる存在になれるか見守りたい。昨年終盤に抜群の安定感を示した竹田祐や山本祐大とのトレードで移籍してきた尾形崇斗らも十分戦力となっているはずだ。

消耗の激しいクローザーなどリリーフ陣の5年後を予想するのは難しいが、長年チームを支えてきた山崎康晃の後継者として、フォークを武器に中川虎大が守護神に君臨していることを期待。投打に軸となる選手の出現が待望される。

5年後の予想布陣



期待の若手は……

プロスペクトランキング10

PROSPECT RANKING

順位	年齢	守備	選手名	試合数	防／率	回／本	勝／点	S／盗
1	22	内野手	宮下 朝陽	42	.288	1	17	1
長年のチームの課題である遊撃手に突如現れたドラ3ルーキー。守備を磨きつつ、本塁打を放ち、持ち味を発揮する								
2	24	投手	篠木 健太郎	6	2.41	18.2	0	1
3	23	投手	島田 舜也	10	1.16	31	2	0
4	23	内野手	小田 康一郎※	90	.272	4	46	17
5	23	投手	深沢 鳳介	13	1.58	45.2	5	0
6	20	内野手	高見澤 郁魅※	66	.321	2	23	0
7	24	内野手	加藤 響	74	.259	2	35	5
8	21	投手	武田 陸玖※	19	3.94	64	3	1
9	25	投手	庄司 陽斗※	16	2.03	48.2	5	0
10	25	内野手	成瀬 脩人	48	.255	0	19	3

*2026年時の満年齢　成績は9月3日現在の2軍での成績
※＝左投げ、左打ち　◎＝両打　◇＝育成選手
選出した選手は、2026年に新人王資格を持つ選手に限定